日本物理学会 2019 市民科学講演会　概要

目　　的：物理学を通じた社会と教育への連携活動として日本物理学会が行う一般市民向けの講演会であり、広く市民・青少年に科学に対する理解と興味を広げることを目的としています。今回の講演会は日本物理学会 2019 年秋季大会[物性],（9 月 10 日～13 日，岐阜大学）とあわせて開催されます。

名　　称：日本物理学会 2019 市民科学講演会

テ ー マ：「太陽系の起源を探る―はやぶさ 2 の挑戦―」

日　　時：2019 年 9 月 15 日（日）14：00 ～ 16：30

会　　場：じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター）ホール

講　　師：渡部　潤一（国立天文台，副台長）
津田　雄一（宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究所，はやぶさ 2　プロジェクトマネージャー）

定　　員：550 名（入場無料，往復はがきによる申し込み制，定員を超えた場合は抽選）

主　　催：一般社団法人 日本物理学会，国立大学法人 岐阜大学

後　　援：岐阜かかみがはら航空宇宙博物館，岐阜県，岐阜県教育委員会，岐阜市教育委員会，中日新聞社，岐阜新聞社・岐阜放送

○テーマの説明

わたしたちの太陽系は、星間を漂うガスの集積から始まり、原始太陽系へと進化していき、その中で地球など惑星系が誕生したと考えられています。そのプロセスを解明するために、太陽系の彼方から飛来する彗星、小惑星など太陽系小天体の観測的な研究が進められてきました。その中でも小惑星イトカワからサンプルを持ち帰った「はやぶさ」の活躍は記憶に新しいところです。そして現在、イトカワよりさらに始原的な小惑星リュウグウからのサンプルリターンを目指す「はやぶさ 2」による探査が順調に進行しています。「はやぶさ 2」はイオンエンジンを用いた 3 年半の航行を経て、ついに 2018 年にリュウグウに到着しました。小惑星表面へのタッチダウン、史上初めて人工的なクレーター形成に成功し、クレーターから小惑星内部のサンプルの採取が行われました。本講演会では太陽系の形成、地球の生命や水の起源、惑星探査の最前線について、「はやぶさ 2」の最新成果を交えて 2 名の講師に語っていただきます。

○プログラム

・開会挨拶　森脇　久隆（岐阜大学長）［5 分］
・講　　演　渡部　潤一「太陽系小天体の謎に迫る」［50 分］
・講　　演　津田　雄一「はやぶさ 2 のリュウグウ探査技術と成果」［50 分］
（休憩）［15 分］
・対　　談　渡部潤一×津田雄一（質疑応答を含む）［30 分］

2019 年 7 月 12 日

日本物理学会 2019 年秋季大会［物性］実行委員会

○講師プロフィール

渡部　潤一（国立天文台，副台長）

福島県生まれ．東京大学大学院，東京大学東京天文台を経て，現在，自然科学研究機構国立天文台副台長・教授，総合研究大学院大学教授．理学博士．太陽系小天体（彗星，小惑星，流星など）の観測的研究のかたわら，「はやぶさ」「はやぶさ２」ではターゲットになる小惑星候補を地上観測で絞り込むなどの支援の他，2010 年の「はやぶさ」地球帰還の際には，大気圏再突入現象の研究のため観測隊を編成し，オーストラリアで観測を行った．また，講演，執筆，メディア出演など天文普及活動でも幅広く活躍し，国際天文学連合では，星定義委員として準惑星という新しいカテゴリーを誕生させ，冥王星をその座に据えた．専門分野は太陽系天文学，惑星科学．

津田　雄一（宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究所，はやぶさ２ プロジェクトマネージャー）

2003 年東京大学大学院修了．博士（工学）．2003 年 JAXA 宇宙科学研究所（ISAS/JAXA）助教．2015 年同准教授．「M-V ロケット」の開発，小惑星探査機「はやぶさ」の運用に従事．また，ソーラーセイル宇宙船「イカロス」のサブチームリーダーとして，世界初のソーラーセイル技術の実現へと導いた．小惑星査機「はやぶさ２」の開発にあたっては，プロジェクトエンジニアとして技術開発を指揮．2015 年より，はやぶさ２のプロジェクトマネージャー．専門分野は宇宙航行力学，宇宙機システム，太陽系探査．

（2019.05.24 更新）

日本物理学会 2019 年秋季大会［物性］実行委員会

日本物理学会 2019 市民科学講演会　開催告知・申込方法[最終受付]

■名　称：日本物理学会 2019 市民科学講演会
■テーマ：「太陽系の起源を探る―はやぶさ２の挑戦―」
■日　時：2019 年 9 月 15 日（日）14：00 ～ 16：30
■会　場：じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター）ホール
　　住所：　〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町 1 丁目 10 番地 11
　　会場ホームページ：http://plaza-gifu.jp/
■講　師：渡部　潤一（国立天文台 副台長）「太陽系小天体の謎に迫る」
　　津田　雄一（JAXA，はやぶさ２ プロジェクトマネージャー）「はやぶさ２のリュウグウ探査技術と成果」
■定　員：550 名（入場無料，往復はがきによる申し込み制，定員を超えた場合は抽選）
■対　象：一般・高校生向け（未就学児の入場はご遠慮ください）
■申し込み方法［最終受付］：
〇申し込み手順
　・往復はがきによる事前申し込み制です。
　・往復はがきに【記入例】のように必要事項を記入し、下記宛先までお申し込みください。
　・１枚の往復はがきで３名までお申し込み可能です。
　・定員を超えた場合は抽選となります。
〇往復はがきの記入事項
　・往信はがきの表(おもて)面と裏面に以下をご記入ください。
　　[表面]
　　郵便番号： 501-1193
　　住所： 岐阜市柳戸１－１
　　宛名： 岐阜大学工学部（応用物理コース内）市民科学講演会 係
　　[裏面]
　　①申込者氏名（最大３名まで）
　　②代表者連絡先（電話番号またはメールアドレス）
　　③講師に質問してみたいこと
　　（②と③は任意でご記入ください。また、個人情報保護のため必要であれば市販の情報保護シールを貼付してください。）
　・返信はがきの表(おもて)面には以下をご記入ください。
　　[表面]
　　返信先郵便番号
　　返信先住所
　　返信先宛名

・返信はがきの裏面にはお申し込みの結果とご案内を事務局が記入します。返信はがきの裏面は空白のままでお申し込みください

○申し込み締切日［最終受付］：2019 年 8 月 30 日（必着）

○申し込み宛先：

〒501-1193 岐阜市柳戸１－１

岐阜大学工学部（応用物理コース内）市民科学講演会 係

○申し込み結果［最終受付］の返信：

返信はがき裏面に結果を記載し、9 月 6 日（金）までに発送する予定です。

○申し込みに関するお問い合わせ：（電子メール）jps2019f@gifu-u.ac.jp

■市民科学講演会 URL： https://www1.gifu-u.ac.jp/~jps2019f/kouenkai/

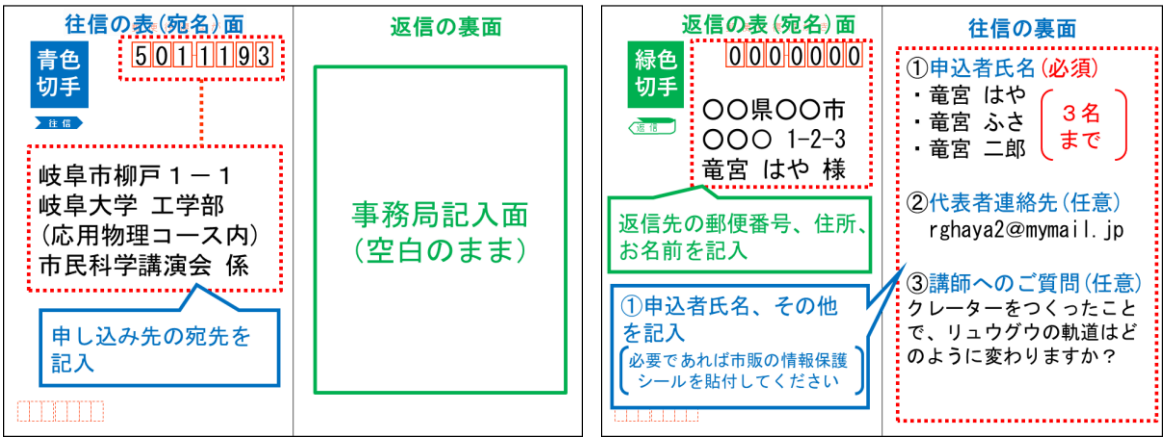
［QR コード］

■主　催：一般社団法人 日本物理学会，国立大学法人 岐阜大学

■後　援：岐阜かかみがはら航空宇宙博物館，岐阜県，岐阜県教育委員会，岐阜市教育委員会，中日新聞社，岐阜新聞社・岐阜放送

■企画・運営：　日本物理学会 2019 年秋季大会［物性］実行委員会

【記入例】（往復はがきを折らずに広げた状態で見た場合）



2019 年 8 月 16 日

日本物理学会 2019 年秋季大会［物性］実行委員会